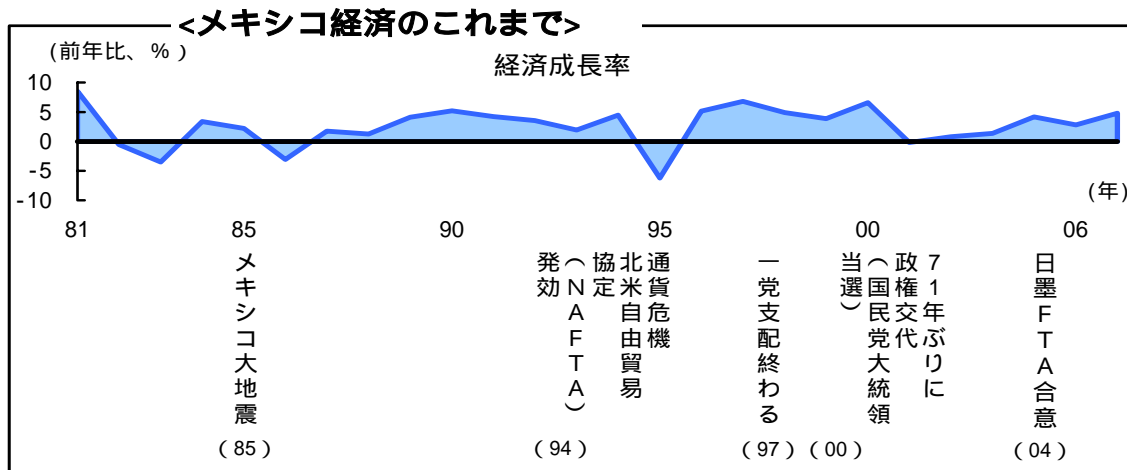


19 メキシコ

United Mexican States

<2006年>

人口 1億703万人(2005年) 財政会計年度 1月～12月
 一人当たりGDP 7,848ドル 為替制度 変動相場制
 産業構造(GDP構成比) 1次産業 5.2% 通貨 ペソ 1米ドル=10.9ペソ
 2次産業 25.9% 面積 196.4万km² (日本の約5倍)
 3次産業 68.9%



メキシコの主要経済指標

		95～04年	2005年	2006年	2007年			
					政府	OECD	IMF	民間機関
実質GDP	前年比%	2.7	2.8	4.8	3.6	3.4	3.4	実質GDP
鉱工業生産	同上	2.9	1.7	5.0	-	-	-	
消費者物価	同上	15.3	4.0	3.6	3.0	4.2	3.9	平均
失業率	%	3.7	3.6	3.6	-	3.9	-	3.4
経常収支	億米ドル		49	15	199.3	-	-	最大
(GDP比)	%		(0.6)	(0.2)	(2.3)	(0.8)	(3.2)	4.0
財政収支	億米ドル		9.4	7.4	-	-	-	最小
(GDP比、年度)	%		(0.1)	(0.1)	(0.0)	-	-	2.1
政府債務残高	億米ドル		1,717	1,953	-	-	-	(20社)
(GDP比、年度末)	%		(22.4)	(23.3)	-	-	-	

(備考) 1. メキシコ銀行、メキシコ地理情報統計院、IMF “International Financial Statistics”より作成。
 見通しの政府はメキシコ財務省、OECDは “Economic Outlook” (2007年5月)、
 IMFは “World Economic Outlook”(2007年4月)による。
 2. 財政収支は、一般政府。2002年は、農業開発銀行 (Banrural)解散の影響を除いたもの。
 3. 政府見通しの消費者物価は、12月の前年同月比。

<2006～07年の経済>

2006年の経済成長率は、4.8%となり、05年の2.8%から加速した。その要因としては、輸出の増加や政治的な不透明感の改善等に伴い、投資が高い伸びとなったことや、堅調なアメリカ経済や石油価格の高騰等、対外要因が良好だったことに加え、消費者金融の活性化が国内消費を刺激したことなどが挙げられる。製造業では自動車分野が好調で、06年の自動車輸出台数・生産台数・国内販売台数はいずれも過去最大を記録した。また、内政面では、司法の判断に委ねられていた大統領選 (06年7月) の結果、前フォックス政権の改革路線の継承を唱えるカルデロン氏の当選が同9月に確定した。

07年のメキシコ経済は、経済面で結びつきが強いアメリカ経済の成長が緩やかになることに伴い、成長率が鈍化するものとみられ、3%台半ば程度の成長が見込まれている (政府見通し3.6%、IMF見通し3.4%、民間機関20社の平均3.4%)。